



第73号 令和元年12月発行

けんぽく農林ニュース

ふくしまから はじめよう。
「食」と「ふるさと」新生運動ニュース

～県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する
情報をお知らせします～



福島県オリジナル品種の「べにこはく」
は甘酸っぱくて、とってもジューシー。美
味しいからみんなも食べてみてね！



収穫を待つ「べにこはく」
(福島市瀬上)

目次

- ・ 安達地方生活研究グループ連絡協議会が「全体研修会」を開催しました！（安達農業普及所） P 2
- ・ 鳥獣被害対策モデル集落（水舟集落）の第2回勉強会を開催しました！（安達農業普及所） P 3
- ・ 「伊達地域農業普及推進懇談会」を開催しました！（伊達農業普及所） P 4
- ・ 食品表示法研修会（県北地方）を開催しました！（企画部） P 4
- ・ 台風第19号被害に関する県北地方モモ産地再生対策会議を開催しました（農業振興普及部） P 5
- ・ 牛乳・乳製品利用料理講習会が開催されました！（農業振興普及部） P 5～P 6
- ・ 県北地方 GAP 研修会を開催しました！（農業振興普及部） P 6
- ・ 福島大学食農学類学生による伐採現場見学を行いました！（森林林業部） P 7
- ・ ため池放射性物質対策モデル事業研修会を実施しました！（農村整備部） P 8
- ・ 台風第19号による農地・農業水利施設被害の災害査定が実施されました（農村整備部） P 8
- ・ 「ふくしま県北まるごと物産展 2019」が開催されました！（企画部） P 9
- ・ 令和2年の干支は「子」！イノシシ革の干支キーホルダー（企画部） P 9
- ・ 「田んぼの学校」閉校式・収穫祭を行いました！（農村整備部） P 10
- ・ 菌床しいたけイノベーションセンターの視察研修会が開催されました！（森林林業部） P 11
- ・ 「県北地方グリーン・ツーリズム交流会及び農家民宿セミナー」を開催しました！（企画部） P 12
- ・ Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が始まりました！（企画部） P 13～P 14
- ・ けんぽくの直売所紹介「福島県観光物産館」（企画部） P 15



安達地方生活研究グループ連絡協議会が「全体研修会」を開催しました！

令和元年11月18日（月）、安達地方生活研究グループ連絡協議会の令和元年度「全体研修会」が、県二本松合同庁舎会議室で開催されました。

今回の全体研修会では、令和2年秋に開催が予定されている生活研究グループ連絡協議会「全国会議福島大会」への参加者を“おもてなし”するためのプレゼントとして、牛乳パック空箱と端布を使った「ビニール袋の携帯ケース」作りに取り組みました。

当日は、会員30名が出席し、会員の渡辺栄子氏を講師に、洗って乾燥させた牛乳の紙パックを切って骨組みとし、着物等のきれいな端布を貼り付け、ビニール袋等を折り入れて携帯できるケースの作り方を学びました。会員はお互いに作り方を教え合い、端布の組み合わせを相談し合うなど、熱心に製作に取り組んでいました。

その後には当所職員を講師に「話題の家畜伝染病と人への影響」についての研修も行われました。参加者からは、楽しい研修会であったと好評でした。

（安達農業普及所）



川木会長の挨拶と「全国会議福島大会」の説明



完成した「ビニール袋の携帯ケース」



作り方を教え合い情報交換



熱心に製作に取り組む会員

鳥獣被害対策モデル集落(水舟集落)の第2回勉強会を開催しました！

令和元年11月24日（日）、二本松市木幡の水舟集落集会所（水舟集会所）において、「令和元年度第2回水舟集落鳥獣害防止勉強会」を開催しました。本集落は、当所が設置している「令和元年度鳥獣被害対策の総合的な対策を行うモデル集落」となっています。集落からは、5つある電気柵設置区画の各電気柵管理者を中心に、12名の方が出席しました。

まず、当所から電気柵を管理する上でのポイントを説明した後に、それぞれの区画の管理責任者から、本年のイノシシ被害・出没状況及び、10月12日の台風第19号を中心とする被害状況の説明を行い、情報を共有しました。

その後、本年の反省を含む集落アンケートへの協力を依頼し、最後に、県から技術実証のため提供した電気柵資材等の適正な使用方法を説明しました。

台風による被害が大きく、集落も大変な状況にある中でしたが、皆熱心に勉強会に臨んでいました。

（安達農業普及所）



農業普及所による電気柵管理のポイントの確認



電気柵管理者による状況説明①



電気柵管理者による状況説明②



農業普及所による電気柵資材の説明

「伊達地域農業普及推進懇談会」を開催しました！

令和元年11月26日（火）、県伊達合同庁舎において、管内市町、JAふくしま未来、伊達果実農業協同組合、伊達地方農業士会、各市町認定農業者会、福島県普及指導協力員などの構成員に出席いただき、令和元年度第1回「伊達地域農業普及推進懇談会」を開催しました。

懇談会では、今年度設置した「アグリふくしま革新技术加速化推進事業」実証ほ3カ所の実証内容や成果概要について紹介した後、普及指導計画6課題の活動について意見交換を行いました。出席者から、担い手の確保や農業の振興方策などについて、多くの意見と助言をいただきました。

今回いただいた御意見等を踏まえ、引き続き効果的かつ効率的に普及指導活動を展開していきます。
(伊達農業普及所)



アグリふくしま革新技术加速化推進事業成果説明



懇談会参加委員との意見交換

食品表示法研修会(県北地方)を開催しました！

令和元年11月27日（水）、福島県庁において、当事務所主催の令和元年度「食品表示法研修会」を開催しました。当日は県北地方の漬物や菓子等を扱う加工・製造業者、農産物直売所スタッフなど、48名が参加しました。

研修会では、はじめに当事務所職員より、原料原産地表示制度などの「品質事項」について説明を行いました。続いて、県北保健福祉事務所の職員から添加物やアレルギーの表示方法などの「衛生事項」、栄養成分表示などの「保健事項」について説明しました。

参加された方々は熱心に説明にメモを取るなど、食品表示のルールについて、より理解を深めていただく機会となりました。
(企画部)



研修会の様子



熱心に説明をきく参加者

台風第19号被害に関する県北地方モモ産地再生対策会議を開催しました

令和元年11月28日(木)、ふくしま未来農業協同組合伊達地区本部において、当事務所主催の「台風第19号被害に関する県北地方モモ産地再生対策会議」を開催しました。

本年10月12日から13日にかけて本県を通過した台風第19号は、これまでに経験したことのない豪雨となり、県北地方においては果樹の樹体被害が200haを超え、そのうちモモの被害が約167haとなるなど、甚大な被害が発生しました。このため、関係機関・団体との連携を図りつつ、農業者への支援と産地の復旧・再生に万全を期すことを目的に、JAふくしま未来、伊達果実農業協同組合、福島市、伊達市、桑折町、国見町、県農業共済組合県北支所、県農業振興課、園芸課、農業総合センター果樹研究所を参集して本会議を開催しました。

会議では、「台風第19号に関する被害の概要」、「樹体の浸水等に係る影響調査」、「今後の技術対策」、「補助事業の取組、支援対策」について協議を行い、「改植を判断するため樹体の浸水等に係る影響調査の結果を早く情報提供して欲しい」、「農業者支援のため改植を判断する目安を具体的にまとめたものがあると良い」、「本年度及び次年度の改植にかかる補助額はいくらか」などの要望や質問が出されました。

当事務所では、農業協同組合や市町村等と連携して、引き続き被害を受けた農業者に対して支援を行っていきます。

(農業振興普及部)



当事務所、芳見所長挨拶



会議の様子

牛乳・乳製品利用料理講習会が開催されました！

令和元年12月4日(水)、福島市松川学習センターにおいて、福島地区生活研究グループ連絡協議会主催による令和元年度「牛乳・乳製品利用料理講習会」が開催されました。

当日は、達南地区生活研究グループ連絡協議会の会員も出席し、栄養士の佐藤正子先生指導の下、白菜のミルクスープ及びバターライス、さつま芋のカリカリチーズ焼き、麩のパンケーキの4品を作りました。

参加者からは、「麩のパンケーキは新しい発見」、「さつま芋はカリカリ感が出ており、とても美味しい」、「今回のレシピは家庭にある材料ででき、栄養バランスも良く、主婦にはうれしい内容」などの感想が聞かれました。また、試食をしながらの食育の講話では、特に骨密度の内容が大変参考となったとの意見がありました。

(農業振興普及部)



出来上がった牛乳たっぷりの料理

(上:さつまいものカリカリチーズ焼きと麩のパンケーキ
下左:バターライス、下右:白菜のミルクスープ)



講師からの指導に真剣に取り組む

県北地方GAP研修会を開催しました！

令和元年12月3日(火)、桑折町の「はねだ桃園」及び「JAふくしま未来桑折営農センター」において、当事務所主催による「県北地方GAP研修会」を開催しました。認証GAP取得を目指す農業者や関係機関職員等26名が参加しました。

研修会前半の現地研修会では、「はねだ桃園」の農産物取扱い施設において、代表の羽根田幸将氏からGAP実践のためのポイントについて説明いただきました。参加した若手農業者からの質問には、実際の帳票類やタブレットに表示した画像を提示しながら応答いただき、有意義な現地研修会となりました。

「桑折営農センター」に移動して行った研修会後半では、福島県環境保全農業課 遠藤芳美GAP推進員から「GAP現地支援でよくある質問」について報告いただいた後、福島市の「渡辺果樹園」の渡辺晴光氏と本宮市の「御稲プライマル株式会社」後藤正人氏から、認証等までの経過と導入効果について発表していただきました。発表に対する質疑応答の後、参加した農業者それぞれからも研修の感想やこれからの取組について発言があり、活発な意見交換も行われました。

当事務所では、認証GAPの取得を希望する農業者の支援を引き続き行っていきます。

(農業振興普及部)



現地研修会で説明する羽根田幸将氏



事例発表する後藤正人氏

福島大学食農学類学生による伐採現場見学会を行いました！

令和元年12月5日（木）、福島市松川町水原地内のふくしま森林再生事業施行地において、福島市の協力により福島大学食農学類学生による伐採現場見学会を行いました。

当日は、みぞれ混じりの雨の中、大学1年生53名が参加し、福島県の森林林業の現状や森林づくりの手法を学んだ後、「吾妻造林有限会社」によるヒノキの間伐作業を見学しました。

伐採作業を見ることが初めての学生が多く、作業員の手際の良さや伐倒時の迫力に歓声があがりました。

また、学生による玉切り作業の体験も行い、チェーンソーの扱い方等についても学んでもらいました。

福島大学食農学類は平成31年4月に誕生したばかりで、現在は1年生のみの一般教養課程ですが、2年生から食品科学、農業生産学、生産環境学、農業経営学の4コースに分かれるとのことです。

森林林業を学べるのは生産環境学コースとなりますが、今回の現地見学がコース選択等の参考になればと考えています。

（森林林業部）



現地説明の様子



伐採を開始



伐採した木は玉切りを行います



ちょっとだけ学生さんが体験

ため池放射性物質対策モデル事業研修会を実施しました！

県では、ため池の底土に付着している放射性物質を除去し、拡散を防ぐため、県内の対象ため池において、放射性物質対策モデル事業を実施しています。

令和元年11月22日（金）に、当事務所が工事を発注している新沼（伊達市）において、県内の市町村や施工業者への技術支援及び事業の加速化を目的とした研修会を県農地管理課主催で行いました。

研修会には、市町村の担当者や施工業者が参加し、作業工程や使用機械、施工管理方法などについて工事受託業者より説明を受け、作業の一連の流れを研修しました。

（農村整備部）



ため池の堤体上で説明を受ける参加者



機械の操作状況の見学

台風第19号による農地・農業水利施設被害の災害査定が実施されました

災害により農地・農業水利施設等が被災した場合、施設の管理者である県、市町村、土地改良区が、被害状況の把握、現地の測量、復旧工法の検討を行い、国の査定官が、被災箇所ごとの工事費を決定する、災害査定が行われます。

当所管内では、台風第19号により被災した農地・農業水利施設の災害査定が、12月1週目から始まり、2週目、4週目と全3週間にわたって実施されました。

（農村整備部）



災害査定の様子(伊達市)

「ふくしま県北まるごと物産展 2019」が開催されました！

令和元年12月6日（金）、7日（土）の2日間、福島市のコラッセふくしま1階にある「福島県観光物産館」において、県北地方振興局主催による「ふくしま県北まるごと物産展 2019」が開催されました。

県北地方各市町村がそれぞれ特産品を販売したほか、県立福島商業高等学校と県立福島明成高等学校の生徒たちが自分たちで開発した商品や育てた花などを販売しました。会場にはたくさんの方が訪れ、大盛況でした。

（企画部）



県北6酒蔵の大吟醸



お客様に商品について説明する高校生たち

令和2年の干支は「子」！イノシシ革の干支キーホルダー

一般社団法人伊達市農林業振興公社では来年の干支にちなみ、ネズミ型のキーホルダー「ネズキー」（税込1,100円）を販売しています。伊達市で捕獲されたイノシシを有効利用するため、イノシシ革を使った製品をスタッフが一つ一つ手作りしています。

現在は道の駅りょうぜんとオンラインショップのみでの販売となっていますが、生産体制が整い次第ほかの委託販売先でも販売する予定ですので、ぜひお買い求めください。

●事業者データ

一般社団法人伊達市農林業振興公社

〒960-0801 福島県伊達市霊山町掛田字段居 45 番地

☎024-564-2301

オンラインショップ <http://www.ino-date.com/>



3色のネズキー

（企画部）

「田んぼの学校」閉校式・収穫祭を行いました！

令和元年12月10日（火）、今年度、当所管内で「田んぼの学校」に取り組んでいる福島市立余目小学校において、閉校式及び収穫祭を行いました。

閉校式では、田んぼの学校長として、児童に農作業の指導をいただいた栃窪三男氏を始め、余目小学校長の平久井校長、当事務所の芳見所長の挨拶の後、栃窪氏から5年生の児童一人一人に修了証が授与されました。

引き続き行われた収穫祭では、田んぼの学校長の指導の下、5月の「田植え」以降、経過観察やかかしの設置など、児童たちが大事に育て9月に稲刈りを行った米を児童自ら調理し、おにぎりにするなどして、関係者とともにいただきました。

児童たちは、おにぎりをいくつも頬張るなど、いつも以上の食欲を見せていました。また、一緒に参加した父兄からは「とても美味しい」などの感想がありました。

「田んぼの学校」は、農村地域の農地や自然環境を学びの場として活用し、「食・命の大切さ」を学ぶ食育、「農業・農村地域の大切さ」を学ぶ社会教育、「自然環境の大切さ」を学ぶ環境教育を総合的に実践する「農育」の取組で、次年度以降も引き続き行っていくこととしています。

（農村整備部）



田んぼの学校長、栃窪氏の挨拶



当事務所、芳見所長の挨拶



自分たちで育てた米を食べる児童たち



おいしくいただきました

菌床しいたけイノベーションセンターの視察研修会が開催されました！

令和元年12月12日（木）、ＪＡふくしま未来しいたけ部会連絡協議会の出荷規格検討会及び視察研修会が開催されました。

ＪＡ全農福島によるしいたけの販売情勢の報告や、当事務所による「ふくふくしめじ」の生産に関する情報提供の後に行われた出荷規格検討会では、同じＪＡであっても、福島、伊達、安達それぞれの地区で品質区分や階級といった出荷規格が異なることが確認され、今後は統一していくべきではないか、との意見が出されました。

その後、郡山市日和田町にある「ＪＡ全農福島菌床しいたけイノベーションセンター」において視察研修会を行いました。センターは、昨年10月31日に竣工した、菌床しいたけの栽培を技術面でサポートする施設となっています。年間で43万菌床、生しいたけ160tの生産が可能で、機械化・自動化を取り入れ、培地の製造から接種・培養による菌床出荷に対応しています。

精米工場を改装したというセンターの内部にはたくさんのハウスが並び、菌床しいたけが完全空調栽培されていました。協議会のメンバーは、家族経営により簡易な施設でしいたけを栽培している方が多く、散水の方法や発生させ方などについて熱心に質問をしていました。

（森林林業部）



建物内部にある複数のハウス



培養中の菌床



発生が始まった菌床を前に、説明を聞く生産者



「県北地方グリーン・ツーリズム交流会及び農家民宿セミナー」を開催しました！

令和元年12月18日（水）、二本松市東和の道の駅ふくしま東和において令和元年度「県北地方グリーン・ツーリズム交流会及び農家民宿セミナー」を開催し、農家民宿開設者のほか、関係者など約40名が参加しました。

第1部では、はじめに当事務所より「県北地方のグリーン・ツーリズムの現状」を説明した後、東和地区にも造詣の深い、「あうたび合同会社」代表の唐沢雅広氏より「地域資源を活かした農泊体験メニュー作りから実践事例」と題して、同社の農泊関連の取組事例等を中心に講演していただきました。

その後の情報交換会では、県北地方振興局及び当事務所より、農家民宿を活用したモニターツアーの実施状況報告や、各団体代表からの取組状況の紹介がなされました。

後半の第2部では、「みなみやま観光株式会社」営業部長の湯田弘信氏より「南会津農村体験推進協議会の教育旅行の取組状況」と題して南会津地域での教育旅行受入れの状況等について、DVD映像等を交えて講演いただきました。教育旅行の受け入れ拡大を目指している当管内の農家民宿関係者や、それ以外の参加者からも多くの質問が出されました。教育旅行のオファーも徐々に増えつつある中、受入れ体制整備や体験メニューの充実の必要性を再認識されたようでした。

当事務所では、グリーン・ツーリズムと、農家民宿の活用推進の支援を今後とも継続していきます。

(企画部)



唐沢雅広氏による講演の様子



湯田弘信氏による講演の様子



本宮市伊藤氏による取組み状況紹介



参加者(旅行業関係者)からの発言の様子

Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が始まりました！

令和元年12月1日（日）から、Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」が県北地方の飲食店10店舗で始まりました。

今回はそのうち3店舗を御紹介します。各店舗とも工夫を凝らしていて、いろいろなりんごの食べ方を堪能できますのでぜひ御利用下さい。

Hot フルーツ！プロジェクト第2弾「りんご」販売店についての詳しい情報はQRコードからどうぞ！令和2年1月31日（金）までの販売となっています。



 **道の駅国見あつかしの郷「ももたんカフェ」**のHot フルーツ！メニューは「アップルポテト」（450円、ドリンク付き650円）。国見町産のさつまいもとりんご（紅玉）を合わせました。さつまいもの甘さとりんごの酸っぱさがマッチした自慢の一品です。カフェには他にも国見町産りんごを使った「タルトタタン」や「りんごのティラミス」など常時5、6種類のケーキが食べられます。お持ち帰りも可能ですので、国見町にお越しの際はぜひお立ち寄りください！

●事業者データ

道の駅国見あつかしの郷「ももたんカフェ」

〒969-1761 伊達郡国見町藤田字日渡二 18-1 ☎024-585-2132

営業時間：10：00～17：00（L.O 16：30）

※年末年始は営業時間が変わります。 12月31日（火）10：00～15：00（L.O 14：30）

1月1日（水） 11：00～17：00（L.O 16：30）

12月30日（月）まで、1月2日（木）からは平常営業です。



国見のおいしさがつまったアップルポテト



レストランの奥が「ももたんカフェ」です

 こちらは当事務所から歩いてすぐの **Melon de melon 福島大町店**の「焼きりんごのミニコッペ」（1個 150円）。メロンパン生地のコッペパンに食べやすくカットしたりんごにバターと砂糖を加えた「焼きりんご」風にしたものを挟みました。皮を剥かずにそのまま使っているの赤い色が鮮やかです。テイクアウト専門店なので、手土産やおうちでのティータイムにぴったりです。たくさん購入したい場合は予約もできますので、焼き立てをぜひお買い求めください。

●事業者データ

Melon de melon 福島大町店

〒960-8041 福島市大町8-20 プリティ大町ビル1F ☎024-503-9161

営業時間:9:00~20:00(日曜日は~18:00)



りんごたっぷり♪



店舗外観



福島市の繁華街、パセオ通りにある福島ワイン酒場の Hot フルーツ!メニューは「あぶくま三元豚のグリル 県産リンゴのキャラメルソース」(900円)。脂身までジュワッとおいしい「あぶくま三元豚」を塩こうじにつけてグリルしました。キャラメリゼしたりんごのソテーの甘酸っぱさがやわらかい豚肉のうまみを引き立てます。お店の名前のとおり、ワインの種類も豊富ですので、お好みのワインと一緒にぜひお召し上がりがください。

●事業者データ

福島ワイン酒場

〒960-8034 福島市置賜町 8-15 ピア 21ビル 7階 ☎024-523-5225

営業時間:17:00~翌 1:00(日曜祝日は~24:00)

定休日:毎週火曜日・12月31日、1月1日



りんごと豚肉の相性が最高です!



おしゃれな店内

寒くなったら、Hot フルーツ。



**けんぼくの直売所紹介 福島県観光物産館
福島県のお土産勢ぞろい！年末年始にぜひ！**

福島駅西口より歩いてすぐのところにある「コラッセふくしま」の1階にある「福島県観光物産館」では、福島県産の日本酒、銘菓、6次化商品や伝統工芸品の品揃えが豊富で、いつも多くのお客様でにぎわっています。

飲食コーナー「ふくしまラウンジ」では、日本酒、ワインの利き酒、デザート、地元で愛される食堂の出展もあるのでお見逃しなく。また、櫻田館長の商品に関する知識も素晴らしく、迷ったときはオススメ品を買えば間違いなし！

年間を通じて、旬な商品を入荷しています。1月1日(水)～5日(日)は初売りフェアも開催します！商品情報は「福島県観光物産館だより」をチェックしてください。

●事業者データ

〒960-8053 福島市三河南町1番20号 コラッセふくしま1階

☎024-525-4031 HP:<https://www.tif.ne.jp/bussan/bussankan/>

営業時間 年中無休 9:30～19:00 (12月31日(火)のみ～18:00)



商品の説明をする櫻田館長

～館長おすすめ県北商品～



ふくしま いか人参のご飯の素
(583円税込)
こんな食べ方もあったのですね。
知る人ぞ知る「いか人参」の活用法です。



絆咲の華(きしゅうのはな) (2,400円税込)
※ハーフサイズもあり
被災8道県産(北海道・岩手・宮城・福島・岡山・広島・愛媛・熊本)のお米をブレンドして醸造した球磨焼酎「絆咲」を使用したパウンドケーキです。



野菜が好きになるスープ (540円税込)
11月に発売されたばかりの新商品になります。
トマトスープ、オニオンスープがラインナップ。
レンジで温めるだけで手軽に野菜が取れます。

編集・発行 福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

